

研究課題名	胆管狭窄に対する経口胆道鏡の診断能の検討
研究の意義・目的	胆道狭窄に対する診断法として胆管生検や細胞診などが広く行われていますが、診断能は十分とは言えません。胆管癌においては術式決定において腫瘍の範囲診断が重要です。近年、経口胆道鏡による胆道狭窄や範囲診断の有用性が報告されています。当院では CHF-B290 という内視鏡を用いて経口胆道鏡検査を行っています。本スコープは高解像度で鮮明な内視鏡像が得られることができるため、診断能の向上が期待できる可能性があります。しかし、その診断成績については報告が少ないため、当院で施行した経口胆道鏡検査の診断成績を明らかにすることで、今後の胆道疾患に対する診療の発展に貢献できるものと考えます。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2027年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2019年8月～2022年5月に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科で胆道狭窄に対して経口胆道鏡検査を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	経口胆道鏡を受けられた時点から2022年7月までの診療過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、入院日数、既往歴、内服薬、血液検査データ、内視鏡画像、CT画像、MRI画像、病理組織検査、手術所見など
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 丸山 紘嗣
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究分担者 山村 匡史 住所 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-2316 E-mail masayama@omu.ac.jp